

Title	理財学会会報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1918
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.12, No.7 (1918. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	附録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19180701-0153

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

となる敢て難しとしないのである。是れを思は
い我新興企業の前途洋々たるの觀なきに非ずで
ある。然らば此の支那人の購買力は如何にして
増加せしむるやと云ふに蓋し支那内地の農産物
其他の原料を世界市場に紹介し之を輸出するに
如くはないのである。見よ、かの戰前獨逸が二
億馬を投じたる青島に對し我輸出貿易が非常の
隆昌を來たし青島輸入貿易の第一位を占むるに
到つたのは是れ實に獨逸人及佛國人が山東省に
於ける落花生、繭紬、綿、羊毛、獸皮等を海外に輸
出して此の方面の購買力を増加した結果ではな
いか。更に又今日南北滿州に産する大豆、豆油
は我國某會社が英國其他の市場に紹介したるた
めに今日同地の一大産物となつたのであるが、
同方面に於ける購買力増加の結果は此地方に對
する我國棉絲雜貨輸出貿易の大盛況となつて表
はれて來たではないか。但諺の「情は人の爲め
各人士の言行亦往々利己的排他的となりて又他
を省みず、其政策も常に事の真相に觸れざるの
帳みがある。則ち本文のある所以である。

理財學會々報

●理財學會春季大會 六月四日午後二時大講堂に於て
開催す。定刻高城教授の開會之辭に次ぎ、左記諸氏の講演あり
たるが、雨天なりしにも拘らず、非常なる盛會なりき。

- 一、米國に於ける黑人種之現在及將來 北澤新次郎君
- 一、デモビリゼーション 堀江歸一君
- 一、米國聯邦準備金銀行に就て 米山梅吉君
- 一、世界之大勢 田尻稻次郎君

六時過閉會し次で萬來會に晩餐會を開く。古内幹事の挨拶、田
尻市長の答辭ありて後、一同食卓を圍みつゝ、歡談を交へ、八時
近く散會せり。晩餐會出席者次の如し。

田尻市長、北澤教授、塾員松尾清次郎氏、鎌田塾長、堀江教
授、高城教授、三年幹事大谷、石田、二年幹事中津、青木、奥
谷、古内、奥井、佐藤、一年幹事、里見、三木、矢代、吉田、
横田、

ならず、廻り繞りて己が爲め」と云ふのは獨り
社會に於ける道德律たるばかりではない。經濟
上に於ても亦眞たるを失はないのである。況ん
や支那の天産物を世界市場に紹介するは我國人
にとり一つの有利なる企業たるに於てをやであ
る。對支放資とすら云へば只一に利權の獲得に
向ふ盜猫的根性にのみ囚はれず此方面に對支大
企業の發展せんとを希望して已まないものであ
る。只利己的觀念に支配せられて正面より輸出
貿易の増進を期したればとて思ふ儘になるもの
でない。正面攻撃より側面、背面の攻撃の常に
有效なる事實を省みなければならぬのである。
再言す交易は常に相互利益を基礎とせざる可か
らずと。

今や我社會には拜金、成金、射倖、利己、火
事泥的思想の磅礴たるものありて、一世の人心
を支配せんとするものゝ如し。茲に於てか朝野